

公立大学法人神奈川県立保健福祉大学の WHO協力センター指定について

公立大学法人神奈川県立保健福祉大学
副学長 兼 ヘルスイノベーション研究科長

健康な高齢化のイノベーションに関する
WHO協力センター長

鄭 雄一

ヒューマンサービスの実現

2003年

県立栄養士養成所・県立衛生短期大学をルーツとし
横須賀にて創立

実践教育センター

専門職の継続教育を実施

ヒューマンサービスセンター

地域貢献、国際協働、
ヒューマンサービスパーチ

アドミッションセンター



学部

看護学科・栄養学科
社会福祉学科
リハビリテーション学科
人間総合科

大学院

保健福祉学研究科
ヘルスイノベーション研究科

イノベーション政策研究センター

政策立案支援、
学術研究・社会実装の推進

2019年4月

公立大学法人神奈川県立保健福祉大学 大学院ヘルスイノベーション研究科 開設

【設置場所】

川崎市川崎区（殿町地区）

【学位】

修士（公衆衛生学） 入学定員 1 学年15人

Master of Public Health

博士（公衆衛生学） ※2021年4月開設
入学定員 1 学年2人

Doctor of Philosophy



次世代の

ヘルスイノベーターを育成する。

- **公衆衛生学**をベースにしながら、保健・医療・福祉に**イノベーション**を起こす上で必要な視点やスキルを磨くカリキュラムを充実
- **超高齢社会**を支える新しい健康観「**未病**」を研究対象とし、世界に先駆けて学問体系化を目指す
これまでになく研究・教育機関



**WHOの活動を支援する機関として、
WHOの事務局長によって指定された
機関**

**94か国に797のWHO協力センターがあり（4月8日現在）、
労働保険、感染症、栄養、精神保健、非感染性疾患、
保健医療技術などの分野でWHOと協力**

名称

WHO Collaborating Centre for Innovations in Healthy Ageing

健康な高齢化のイノベーションに関する
WHO協力センター

指定期間

2025年3月26日から4年間

活動内容

政策研究

エイジフレンドリーシティ（「高齢者に優しいまち」づくり）の取組をはじめとした健康な高齢化や未病に関する政策研究・学術論文の作成

人材育成

セミナーの開催やアントレプレナーシップ（起業家精神）教育の実践等により各国・各地域で健康な高齢化や未病を担うリーダーの育成

普及啓発

神奈川県内における健康な高齢化や未病に関する取組成果の国際的な共有